

産業振興などへ弾み 東京農大と包括連携協定締結

東京農業大学と市は12月20日、産業振興、地域づくりなどの分野において相互に協力することを目的に包括連携協定を締結しました。

式には、高野克己東京農業大学長、新部昭夫同大学副学長、立谷市長、宇佐見清企画政策部長など関係者11人が出席しました。

高野学長と立谷市長が署名し協定書を取り交わし、立谷市長が「東日本大震災後から長い期間交流しているが、こ

の協定締結を機にさらにより関係を築いていきたい」、高野学長が「この協定を契機として農業の支援・連携をさらに密にしていきたい」とあいさつ。

市は東日本大震災後、東京農業大学から農業経営、風評被害対策などの活動支援をいただいているほか、今後は被災地域の6次産業化の支援や、東京農業大学の教員・学生による市内農家への経営アドバ



イチゴ狩りのシーズン到来 和田観光いちご園オープン



市の代表的な観光名所、和田観光いちご園の開園式は1月13日、同園で開かれ、関係者や招待を受けた子どもたちら約50人が参加しました。

式では、和田観光苺組合の岩本孝組合長が「今シーズンは来場者数23,000人を目指して組合員一同頑張っていきたい」と意気込みを述べました。

岩本孝組合長、立谷市長、米山光喜市議会議長ら9人がテープカットを行い、相馬保育園の園児による合唱が開園に華を添えました。

甘酸っぱい香りの漂うハウスの中では、「さちのか」や「章姫」、「とちおとめ」などが真っ赤に色づき、訪れた人たちは笑顔で口いっぱいにイチゴをほお張っていました。

井戸端長屋基金に 寄付ありがとう

12月14日、相馬佛教会の渡部顕教会長が市役所を訪れ、市被災高齢者等地域生活支援基金（井戸端長屋基金）に寄付をしました。

相馬佛教会は市内19の寺で構成されています。

渡部会長が、歳末助け合いの托鉢（たくはつ）などで寄せられた寄付金を市に寄付し、佐藤憲男副市長が謝辞を述べました。



一年の無病息災を祈る どんと祭

ふるさと行事「どんと祭」は1月14日、長友グラウンドで行われ、市民が正月飾りなどを燃やし無病息災を祈願しました。

開会では西村年晴連合商栄会長、立谷市長らがあいさつ。神事に続き、山のように積み上げられたお札などに火が入られました。

正月飾りなどを持ち寄った参加者たちは、竹の先に福餅を刺して焼き、白い息を吐きながら熱々を食べ、無病息災を祈りました。



中村第二中学校

落成・開始式

落成式



中村第二中学校の落成式は12月19日、同校体育館で行われ、関係者約80人が出席し校舎の落成を祝いました。

式で、立谷市長が式辞を述べ、佐藤恭司校長があいさつを行い、米山光喜市議会議員が祝辞を述べました。

施工業者の植村賢二株式会社小野中村代表取締役から立谷市長に鍵が引き渡され、設計などを行った株式会社フタ設計仙台事務所、庄建技術株式会社、株式会社小野中村株式会社コハタ、早川電気工業株式会社に立谷市長から感謝状が贈呈されました。

開始式



中村第二中学校の開始式は1月8日、同校体育館で行われ、全校生徒が参加しました。堀川利夫教育長が式辞を述べ、生徒を代表して目黒ひかる生徒会長が「この校舎で学べることに感謝します。諸先輩方からの伝統を受け継ぎ、新しい歴史の一ページを開いていくことを誓います」と誓いのことを述べました。

火災から身を守るために
向陽中避難訓練

向陽中学校の避難訓練は12月10日、同中学校で行われ、全校生徒が参加しました。

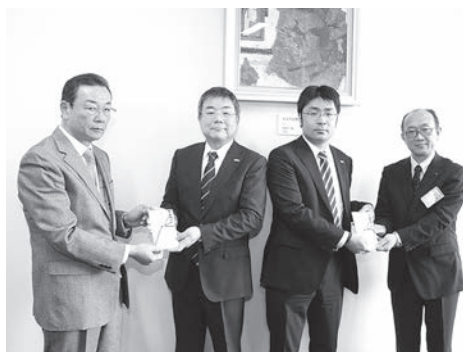
この訓練は、中学校の給食室から火災が発生した場合を想定して行われたもので、災害発生時に迅速に避難できることを目的に実施。

生徒らは、給食室から火災発生時の放送が流れた後、教師の指示に従い安全に校庭に避難しました。

全体指導で、箭内仁史校長から避難状況などの注意事項を受けた後、生徒らは煙に満ちた教室で安全を確認しながら逃げる方法を学びました。

寄付ありがとう

福祉事業への支援



株式会社A D E K Aの高橋真木雄工場長ら3人は12月17日、市役所を訪れ、佐藤憲男副市長へ寄付金を手渡ししました。

この寄付金は、市内の福祉事業のために贈られたものです。

寄付金を受け取った佐藤副市長は「高齢者の見守り活動などに役立てさせていただきます」と謝辞を述べました。

冬の味覚を水揚げ
松川浦漁港

相馬双葉漁業協同組合は1月8日、松川浦漁港で今年初の試験操業が行われ、旬のズワイガニなどが水揚げされました。

試験操業には、底引き網船21隻が出漁し、ズワイガニのほかにカレイやキンキなど約11・4トンの水揚げ。

相馬双葉漁業協同組合の放射能測定検査の結果、水揚げされた魚介類は不検出でした。ズワイガニの試験操業は3月まで行われます。



スポーツ大会出場報告

中山誠一さん 厚生労働大臣 表彰を報告

平成30年度援護事業功労者の厚生労働大臣表彰を受けた中山誠一さんは1月9日、市役所を訪れ、立谷市長に受賞を報告しました。

中山さんは、多年にわたって市戦没者遺族会の会長として援護事業に携わり、その功績が顕著であることから表彰を受けました。

報告を受けた立谷市長は、中山さんの功績をたたえ、ねぎらいの言葉を贈りました。



軟式野球・ バドミントン



スポーツ大会出場報告は12月19日、市役所で行われ、全国大会や国際大会に出場する選手らが立谷市長に報告しました。

訪れた選手は、日本代表として第21回諸羅山盃国際軟式野球少年棒玉大会に出場する井上夏樹選手と武山幸平選手、福島県代表として第27回全国バドミントン選手権大会に出場する中塚歌歩選手、阿部心春選手、遠藤也真斗選手、大宮雅美監督の6人。

報告を受けた立谷市長は「それぞれの大会で実力を発揮してがんばってきてください」と選手たちを激励し、奨励金を手渡しました。

中村一中 バドミントン部

平成30年度中学生新人競技会東北大会出場者激励式は12月25日、市役所で行われました。

激励式に参加したのは、県大会で男子団体の部第3位となった中村第一中学校バドミントン部の部員ら7人。

報告を受けた堀川利夫教育長は「東北大会出場おめでとう。力を出し切って一つでも多くの勝利を目指してがんばってください」と激励し、部員らがそれぞれ大会への抱負を述べました。



ソフトテニス・ バレーボール



スポーツ大会出場報告は12月21日、市役所で行われ、全国大会に出場する選手らが立谷市長に報告しました。

訪れた選手は、第17回KENKOCUP全国ジュニアソフトテニス大会に出場する藤井心愛選手、佐藤莉緒選手、津田聖弥選手、JOCジュニアオリンピックカップ第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に出場する増子結衣選手と岩崎心海選手の5人。

報告を受けた立谷市長は「一つでも多くの勝利を目指してがんばってきてください」と選手たちを激励し、奨励金を手渡しました。

柔道東北地区大会

スポーツ大会出場報告は1月9日、市役所で行われ、東北大会に出場する選手らが堀川利夫教育長に報告しました。

訪れた選手は、第41回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会に出場する齊藤美咲選手と羽根田実奈選手の2人。

報告を受けた堀川教育長は「良い成績を勝ち取ってきてください」と選手たちを激励し、奨励金を手渡しました。



教育漫才発表会 大野小学校

教育漫才発表会は12月12日、大野小学校で開かれ、各学年から選ばれた16組のコンビやトリオが漫才を披露しました。この発表会は、大野小学校が総合学習の時間を活用し、漫才を通して発表する力や自分の考えなどを伝える力を養うことを目的に行ってきた教育漫才の集大成です。

発表を行った各学年の代表児童は、食べ物や日常の出来事をネタに、全校児童や地域の人たちの前で自分たちで考えた漫才を披露しました。

次々に繰り広げられる代表児童の漫才は、児童や地域の人たちを大いに笑わせていました。



誓いを新たに 新春のつどい



相馬市新春のつどいは1月7日、Nリゾート福島で開かれ、市内各団体や企業の代表など約400人が今年の抱負や展望などを語り合いました。

開会に先立ち、相馬子どもオーケストラの演奏がイベントに華を添えました。

立谷市長が「大きく夢ひらく年になるよう皆さんと一緒に力を合わせて、地域の将来のために頑張っていきたい」と述べ、草野清貴相馬商工会議所会頭のあいさつのあと、金子恵美衆議院議員、亀岡偉民衆議院議員、荒秀一県議会議員が祝辞を述べました。

鏡開きを行ったあと、米山光喜市議会議長の音頭で乾杯し、新しい年のスタートを飾りました。

出席者は、今年の抱負や展望などを語り合い、復興への誓いを新たにしていました。



老若男女みんなでふれあう

西部子ども公民館フェス

西部子ども公民館フェスティバル（冬）は12月8日、同公民館で開催され、多くの子どもたちが訪れ、催し物を楽しみました。

当イベントは、社会福祉法人報徳会の主催で、地域の世代間交流を目的に開催。

訪れた子どもたちは、スタンプとして参加した地域のお年寄りの方と一緒に巨大神経衰弱やアニマル人形作りなどで楽しんだ後、振る舞われた豚汁でおなかと心を満たしていました。



防火への誓い新たに 市消防出初式



消防員など関係者約500人が参加しました。

式に先立ち長友グラウンドで市長閣下が行われました。

出初式では山田行雄団長が「気持ちを新たに、市民の安全に尽力してください」と訓示。続いて立谷市長が訓示したあと、消防庁長官表彰や消防協会相馬支部長表彰の授与などが行われました。

式終了後、二の丸球場南側のお堀で消防ポンプ自動車と小型動力ポンプによる一斉放水が行われ、消火・防災への誓いを新たにしました。

市消防出初式は1月6日、スポーツアリーナさうまで開かれ、市消防団員と市女性消